

# じゃがいも掘り

強い日差しが照りつける毎日ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。  
さて、さがみ野ホームでは、先日、じゃがいも掘りを行いましたので、  
その様子を報告させていただきます。

さがみ野ホームには、生活介護の活動の一つに『農芸』があります。  
畑や花壇などで季節に合わせて、食物や植物を育てています。  
種まきや、苗を植えるだけでなく、毎日の水やりや雑草取りなども、  
利用者様と支援者が協力して行っています。



なんと！！  
今年、はじめてプランターによるじゃがいも栽培に取り組みました。



実際に栽培した個性豊かな 2 品種を紹介します。  
1 つ目は、表皮は鮮やかな赤色で、  
形は男爵に近い丸くこぶし状の『アンデスレッド』です。  
2 つ目は、見た目が非常にユニークな『デストロイヤー』です。  
皮は濃い赤紫色で、芽の周りが赤く染まるため、  
「覆面レスラー」のような印象を与えます。  
これが、デストロイヤーという名前の由来だそうです。





4月に種をまいたじゃがいもたちは、  
大きさや形もまちまちですが、  
立派なじゃがいもになり収穫することができました！

プランターでの栽培ということで、  
出来栄はどうなっているのか掘り起こしてみるまで分かりませんでした。が、  
利用者様・支援者の愛情をたっぷり受け  
成長してくれたんだなと嬉しくなりました♪

収穫したじゃがいもは、後日「収穫祭」という日を設けみんなで試食を行いました。  
利用者様とともに、じゃがいもをきれいに洗い、一口サイズにカットし、  
ホットプレートで焼いて召し上がりました。  
利用者様から「おいしい～！おいしい～！」と  
最高なお言葉をいただくことができました。





久しぶりに包丁も使いました(\*^^\*)  
栽培から試食まで、皆さんと取り組むことができ素敵な思い出になりました。

生活介護では、他にも、夏野菜が出来始めています。  
ミニトマト・ピーマン・キュウリ・モロヘイヤなどなど…  
毎日、収穫するのが楽しみになっています！！



私たち支援者は、利用者様お一人おひとりの得意なことや強みを、  
日々の活動の中でどのように活かしていただけるかを考えながら  
支援に取り組んでいます。

毎日、気づけば、自然と笑顔で過ごしていることが多く、利用者様とともに充実した毎日を送ることができているなと感じています。

支援者という立場ではありますが、人生の大先輩である利用者様から学ぶことが多く、日々新たな発見があります。

暑さや虫が苦手な私も…(笑)  
皆様の積極的な活動参加に背中を押され、  
少しずつ慣れてきたように感じています。

これからも、利用者様と一緒に成長させていただきながら、  
笑顔あふれる時間を大切にしていきたいと思います。



最後までご覧いただき、ありがとうございました。  
暑さが本格的になる7月、  
皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。  
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願いいたします♪